



## 秋から冬にかけての カメムシ対策！

日中、おひさまの下は少し暖かいです。朝夕はだいぶ冷え込む日が増えました。山粧う（やまよそおう）紅葉の本番ですが、体調にも気をつけて冬に備えましょう。

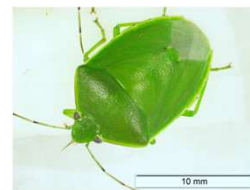
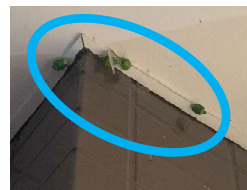
防虫の観点からすると、これからの季節は全体的に虫は減りますが、いくつかのイヤな虫対策を考えておきたい時期でもあります。今年は全国的に「ツヤアオカメムシ」が多かった年でした。このほかにもクサイにおいを出すカメムシは、この時期に冬越しのため建物や家屋にやってきてしまうものがあるので注意が必要です。

ではカメムシにはどんな対策があるでしょう。秋、カメムシは樹木や石の隙間や植物の葉裏などの寒さをしのげる場所に集まるものがあります。建物周囲の廃材や遊休設備、物置など、普段開けない窓のサッシ、ドアの隙間、

戸袋、カーテン裏などは要注意です。こういった場所を時々見てやり、ついでに市販のカメムシ用の忌避スプレーを散布しておくことでちょっとした予防ができます。成分にシフルトリン、シフェノトリンなどが含まれているものがおすすめです。また、カメムシは明るいところが好きなので、お昼にぼかぼか陽気で干した真っ白い洗濯物、夜中に漏れる窓の光や門灯なども要注意。取り込む前のチェック、不要な光はなるべく消すか暗くする、などの心配りも大切です。

おうちの中にカメムシの侵入を許してしまったとき、絶対にしてはいけない対策は、ホウキなどでたたく、ティッシュでつかむ、テープやコロコロで押し付ける、掃除機で吸うなどのカメムシに衝撃を与える対策

図：灯火に誘引されてきたツヤアオカメムシ



です。カメムシはショックを受けると身を守るためにクサイにおいを出します。なるべくそっと紙の上に追い込んで外にばいっ、半分に切ったペットボトルに落とす、テープでそっとくっつけて密封するなど、刺激しない方法で駆除しましょう。

これからの時期のカメムシ対策。秋は建物の周囲で冬越しをさせないよう、また寄ってこないようにする外周点検や忌避剤処理を、冬はカメムシの姿を見たり、嫌なニオイを感じたら暖かい屋内のどこかで冬越し中に寝ぼけて出てきているかもしれないので、屋内の点検と駆除をしましょう。

弊社ではカメムシ対策の隙間閉塞資材や忌避剤の販売や駆除なども承ります。なんでもご相談ください。

### 今月の豆知識

### 2023年、ツヤアオカメムシの大量発生、冬はどうなる！？

今年は「ツヤアオカメムシ」というツヤのある黄緑色をしたカメムシが全国的に多く発生しました。昼に緑色の植物に紛れていたものが、夜は光に寄せられる習性から、店舗、自動販売機などの灯火にたくさん集まってきていました。残念ながら、カメムシはLEDの光でもそこまで寄ってくる数が減るわけではないようです。

さて、これだけ世間をにぎわせたツヤアオカメムシ、ずいぶん目にする数は減ってきました。さぞかしそのあたりでたくさん身を潜めて越冬しているのかと思いきや、夜に光に寄せられてきたカメムシのほとんどは光に惑わされてきてしまったかわいそうな被害者のようなものです。そのほとんどは夜の間に灯火に焼かれたり、人に駆除されたり、運よく生き残っても夜の間に体力を消耗し

たりして命を落としたものが多いと予想されます。このカメムシは越冬場所に隙間に入り込むことを選ぶものもいるかもしれませんが、多くは植物の近くを好みます。だから秋までに目にした数ほどは建物の周りや内部で目にしないと考えられます。それでも数がとても多かった今年、暖かいと出てきてしまうものもいるかも。冬でも時々目にし、うっすらカメムシのにおいを感じる、そんな風物詩になるかもしれませんね。



図：ツヤアオカメムシのライフサイクル